

## ★全員の意見・提案キーワード集約

議題(2) 幸町地区内の各施設の現状と課題について

議題(3) 現地視察を通じた各委員の意見及び質問

## キーワード

- ▶30年～40年での美術館の建替え, リニューアル
- ▶美術館は, 作品のための空調設備が重要 ▶ハード面での文化財保護観点への理解
- ▶美術館は単なる展示スペースでは無い
  
- ▶広大な敷地とポテンシャル ▶戦争のイメージ ▶歴史の礎としての要素
- ▶軍縮, 平和の発信 ▶施設の再生が未来の呉を創る ▶気持ちの良い場所
- ▶場所にプライドを持つ市民が楽しんでいる姿が魅力的な観光コンテンツ
- ▶世界から呉に注目してもらう視点
- ▶観光客の前後の行程と比較して, この施設で何を提供するのか
  
- ▶日常的に行く存在 ▶レンガ造りのイメージ
- ▶次世代の子供たちに美術作品をつなげる
- ▶青山クラブ屋上からの眺めを市民に共有
  
- ▶旧海軍から使ってきた施設 ▶懐かしさを感じる ▶桜松館のエンブレム
  
- ▶文化的なゾーン ▶市民が集う場所 ▶歴史の掘り下げ
- ▶入船山, 青山クラブ屋上からの景色 ▶眼鏡橋 ▶地域に興味を持ってもらう
  
- ▶戦争に近いイメージ ▶国際的な有名人が関与 ▶たくさんのエポック
- ▶平和を訴える ▶立地の良さ ▶大和ミュージアムからの誘導
- ▶開けていないことが問題 ▶開かれた美術館 ▶建築的な課題
  
- ▶歴史を伝える, 伝えられる ▶呉の歴史のシンボル ▶入船山記念館への坂道
- ▶イメージとして残すべき価値 ▶景観を残しつつ融合 ▶まちのシンボルの形
- ▶美術館が現在の周辺環境と一緒に残っていることの重要性
  
- ▶青山クラブは十分に使える印象 ▶天井の低さ, 幅の狭さ
- ▶両施設ともに, 想定よりはしっかりとした建物の印象
  
- ▶重層的な歴史の積み重ね ▶芸術・文化ゾーンとして整備し, 市民に解放
- ▶新しいフェーズの積み重ね
  
- ▶美術館=文化施設, 大和ミュージアム=観光施設という縦割りの位置づけ
- ▶観光と飲食のセット ▶青山クラブの様々な要素とたくさんの可能性
  
- ▶いろいろな方々が積み重ねてきたことを感じられる場所
- ▶景色が良いというポテンシャル ▶場所が織りなす自然環境, 地形
- ▶大和ミュージアムからの引き込み ▶まちのイメージをつくる役割
- ▶エリア全体での相乗効果 ▶全体最適

#### 議題(4)幸町地区の課題と整備の方向性

##### キーワード

- ▶ 幸せに楽しんでいる老若男女の地元の方々の景色
- ▶ 閉じることも大事
- ▶ 闇があるから光があたるような場所
- ▶ メイン通りがあるから路地が面白い
- ▶ パブリック性とクローズな側面や、表面と裏面の意識
- ▶ 特別感を感じられる場所
- ▶ 平和を感じる必要
- ▶ 旧軍港を利用しているまち
- ▶ 広島市と対局の見方をされる
- ▶ 市民が集う場
- ▶ 時代が持つ価値
- ▶ 海軍により形成された文化や歴史の発信
- ▶ 市民と観光客の接点
- ▶ 集会所としての機能
- ▶ 近代化の歴史を伝える
- ▶ 平和と軍事
- ▶ 広島とは別視点からの平和
- ▶ 人が集まる場所
- ▶ 文化度が高い呉
- ▶ 美術館通りの作品を創られた方の思い
- ▶ 50年後にかっこ良いと言われる場所
- ▶ 市民が誇れる場所
- ▶ 音楽の聖地
- ▶ ユースセンター
- ▶ いろいろな人たちとの交流
- ▶ 幸町地区の再生により、呉を活気のある場所に
- ▶ 人口減少の中でいかに子育て世代を呼び寄せるか
- ▶ ナイトツアー
- ▶ 若者が留まる場所に
- ▶ オタクを味方につける
- ▶ どこにも無いからつくる、無いものをつくる
- ▶ ここにしかないものをつくる
- ▶ 呉の歴史の中で非常にポイント
- ▶ 呉市の20年後、30年後を考える
- ▶ 中心となって輝く場所
- ▶ 市民が集まれる場所
- ▶ 外部から人を呼び込む
- ▶ 広島と対極的な平和
- ▶ 広島から呉に船で来訪
- ▶ 海軍もあったことを考えた活用
- ▶ 様々な時代の積み重ね
- ▶ 歴史は実物が残ってこそで、実物は見逃せない
- ▶ 建物のイメージだけ残せば良いという理論は避けるべき
- ▶ 建物全体をどのように残しながら検討していくか
- ▶ 美術館を知らないから、美術館はいらないという意見が出る
- ▶ 美術館の高齢化社会、子供への対応
- ▶ 呉市内では社会教育的な施設が乏しい
- ▶ 文化施設は賑わう
- ▶ 美術館の使い方
- ▶ 人が集まる一番賑やかなところに美術館や文化施設
- ▶ 文化施設が持つパワー
- ▶ 広島市とは違った平和発信の仕方
- ▶ 呉ならではの軍事と一体となった平和の話
- ▶ 歴史には実際の本物が必要
- ▶ “そこにしかない”というもの
- ▶ 歴史の上に文化施設がレイヤーとして加わる
- ▶ シビックプライドの創出
- ▶ 開くのか開かないのか、どこを開いてどこを開かないのか

## ☆委員の個別意見・提案要約，キーワード抽出

議題(2) 幸町地区内の各施設の現状と課題について

議題(3) 現地視察を通じた各委員の意見及び質問

### ◇岡 委員

キーワード
▶ 広大な敷地とポテンシャル ▶ 戦争のイメージ ▶ 歴史の礎としての要素 ▶ 軍縮，平和の発信 ▶ 施設の再生が未来の呉を創る ▶ 気持ちの良い場所 ▶ 場所にプライドを持つ市民が楽しんでいる姿が魅力的な観光コンテンツ ▶ 世界から呉に注目してもらう視点 ▶ 観光客の前後の行程と比較して，この施設で何を提供するのか
意見要旨
○非常に広大な敷地で，いろんなポテンシャル，可能性。 ○呉は，戦争というイメージが地域としてはつきまとっている印象。 ○歴史の礎として大きな要素。 ○軍縮とか平和の象徴といったキーワードとして再発信することが，プロジェクトの根幹，コンセプト，ベースになるキーワードとして残るようになれば。 ○施設の再生が未来の呉を創っていく。 ○高低差や土地全体の規模感，日の入りやすさなどの側面が気持ちの良い場所。 ○従来型の大型バスで乗り付けるような側面ではなく，その場所にプライドを持っている市民，老若男女が，元気よく施設内で楽しんでいる姿や語り合ったりする姿，飲食している姿が，一番魅力的な観光コンテンツ。 ○世界から呉に注目してもらう視点でみた時，呉単発を目がけてということは少ない。 ○どういうルートの中に組み込まれていくのかという点と，その前後の予定というところを比較した時に，呉として何を提供しようとしているのかといった目線も大事。

### ◇小野 委員

キーワード
▶ 日常的に行く存在 ▶ レンガ造りのイメージ ▶ 次世代の子供たちに美術作品をつなげる ▶ 青山クラブ屋上からの眺めを市民に共有
意見要旨
○入船山秋祭りの開催に携わるなど，幸町エリアには日常的に行く存在。 ○美術館は，レンガ造りの素敵なイメージ。 ○美術館がこのまちにあることが本当に良かった。 ○次世代の子供たちが美術作品をこのまちで享受できなくなるということが問題。 ○青山クラブは，晴れの日，2階，3階は非常に明るい。屋上からは灰ヶ峰などの景色から海まで，呉市街地が見渡せる。この景色を市民が共有できる日が訪れると良い。

◇加茂 委員

キーワード
▶旧海軍から使ってきた施設   ▶懐かしさを感じる   ▶桜松館のエンブレム
意見要旨
<p>○自衛隊施設は古い施設が多い。旧海軍から使っていた施設を見てきた。</p> <p>○連邦軍などが接収して使われてきた歴史があり、自衛隊所有になってからの武道場や宿泊施設は、懐かしく感じた。</p> <p>○桜松館のステージ、旧海軍時代からのエンブレムについて大切にしたい。</p>

◇河崎 委員

キーワード
▶文化的なゾーン   ▶市民が集う場所   ▶歴史の掘り下げ ▶入船山、青山クラブ屋上からの景色   ▶眼鏡橋   ▶地域に興味を持ってもらう
意見要旨
<p>○YWCAと入船山記念館、美術館、青山クラブが文化的なゾーンとして、市民が集う場所になれば。</p> <p>○歴史の部分をもっと掘り下げる。</p> <p>○入船山には、元々亀山神社があり、森のように見える。そのような特性も活かした景色を見たい。</p> <p>○眼鏡橋が道路下に暗きよの状態に残っている。市民の方々に見てもらいたい。</p> <p>○YWCAの前を流れている川は、川底が石畳で、砂落とし（呉湾内に砂が流れ出ないように砂をせき止める施設）がある。この地域にもっと興味を持っていただきたい。</p>

◇下倉 委員

キーワード
▶戦争に近いイメージ   ▶国際的な有名人が関与   ▶たくさんのエポック ▶平和を訴える   ▶立地の良さ   ▶大和ミュージアムからの誘導 ▶開けていないことが問題   ▶開かれた美術館   ▶建築的な課題
意見要旨
<p>○長く呉で暮らし、戦争というものと近いと感じていた。</p> <p>○歴代の国際的なやりとりをした有名人が関わっているなど、多くのエポックがある。</p> <p>○呉市が広島市とほぼ同等に平和を訴えていけないといけない。</p> <p>○立地がすごく良い。</p> <p>○観光客は大和ミュージアムをまず見る。その後に、美術館や幸町地区に誘導したい。</p> <p>○開けていないことが大きな課題。美術館通りも何があるか分からない。</p> <p>○金沢21世紀美術館や八戸美術館は開けている。これは建築的な課題。</p>

◇戸高 委員

キーワード
<p>▶歴史を伝える，伝えられる   ▶呉の歴史のシンボル   ▶入船山記念館への坂道 ▶イメージとして残すべき価値   ▶景観を残しつつ融合   ▶まちのシンボルの形 ▶美術館が現在の周辺環境と一緒に残っていることの重要性</p>
意見要旨
<p>○大和ミュージアムは，歴史を伝える施設 ○入船山記念館，長官官舎は，歴史を伝えられる施設 ○実物や本物が，当時の環境が残っている，貴重な呉の歴史のシンボル。 ○青山クラブと入船山記念館との接点 ○入船山記念館は，非常に眺めが良く，雰囲気が良いが，坂道が長いことがもったいない。お年寄りの方，車椅子の方，歩行が困難な方が行きたくても行けない。 ○しかし，まちの人の意見を聞き，住んでいる人の気持ち，歴史の部分について，イメージとしての残すべき価値を持った場所である。 ○二・二六事件になった場所である九段下の旧軍人会館は，表面を見ると，昔のままだが，背後に高層ビルが建ち，極めて上手にレイアウトしている。景観を残しつつ融合させている事例。 ○私も個人的な記憶がある。是非，全体として，まちの一つのシンボルという形，展示施設として，大和ミュージアムとの連携というものを良い形でとりたい。 ○美術館の立派な施設が単独の建物だけでなく，環境と一緒に残っているというところに重要性がある。</p>

◇松野 委員

キーワード
<p>▶青山クラブは十分に使える印象   ▶天井の低さ，幅の狭さ ▶両施設ともに，想定よりはしっかりとした建物の印象</p>
意見要旨
<p>○青山クラブの上に上がれば，十分に使える印象。 ○天井の低さや幅の狭さなどから，実際に使う場合は，手を加える必要性がある。 ○想像していたよりはしっかりとした建物という印象 ○全棟建て直し，建て替えないといけないという感じではない。 ○桜松館については，少し手当てをすれば使えるのではないか。</p>

◇水田 委員

キーワード
▶重層的な歴史の積み重ね ▶芸術・文化ゾーンとして整備し、市民に解放 ▶新しいフェーズの積み重ね
意見要旨
○幸町地区は重層的な歴史が積み重なっているエリア。 ○戦後は、芸術・文化ゾーンとして美術館が整備され、長官官舎が入船山記念館の一部として改築・改修されている。 ○戦前は旧海軍に使われ、戦後は市民に解放されてきている。 ○長い歴史の中でいろいろなフェーズを重ねて現在に至っている。 ○そこに新しいフェーズを積み重ねていく。

◇横山 副座長

キーワード
▶30年～40年での美術館の建替え、リニューアル ▶美術館は、作品のための空調設備が重要 ▶ハード面での文化財保護観点への理解 ▶美術館は単なる展示スペースでは無い ▶美術館＝文化施設、大和ミュージアム＝観光施設という縦割りの位置づけ ▶観光と飲食のセット ▶青山クラブの様々な要素とたくさんの可能性
意見要旨
○日本の美術館の多くは、概ね開館30年～40年の間にリニューアル若しくは建て直しを行っている。空調の問題、使い勝手の問題が根本にある。 ○作品のための空調を整備する観点。 ○ハード面で、文化財保護の観点が、なかなか行政的には理解されないところがある。 ○一番大事なのは文化財を保護する観点。 ○美術館施設は、高度で専門的な施設であり、単なる展示スペースではない。 ○美術館は文化施設で、大和ミュージアムは観光施設という位置付け。 ○未だに縦割りのなところに呉市は留まっている。 ○海外では、美術館や博物館に行き、観光して食べることはセット。そういったもっと柔軟に考える。 ○青山クラブとしても色んな要素があり、可能性はたくさんあるのではないかな。

◇田中 座長

キーワード
<p>▶いろいろな方々が積み重ねてきたことを感じられる場所            ▶景色が良いというポテンシャル ▶場所が織りなす自然環境, 地形            ▶大和ミュージアムからの引き込み ▶まちのイメージをつくる役割            ▶エリア全体での相乗効果 ▶全体最適</p>
意見要旨
<p>○この場所にいろいろな方々が積み重ねて来られて, それを感じられる場所である。            ○山があって海があって, 景色が良いというポテンシャル。            ○行った時に気持ちが良いと感じられる, 場所が織り成す自然環境, 地形を有している。            ○呉のまちを歩いた時, あそこの立地, 場所に, 大和ミュージアムから人を引き込むようなポテンシャル, まちのイメージをつくるような役割。            ○個々の施設単独で考えるのではなく, エリア全体で相乗効果を生み出す。            ○全体最適。全体で良くなる方向。この場所だけで無く, まち全体を見た時にどういう役割を持たせたら良くなるのか。            ○青山クラブに関しては, いろんな使い方の可能性を探り, 工夫した使い方を模索。</p>

議題(4)幸町地区の課題と整備の方向性

◇岡 委員

キーワード
<p>▶幸せに楽しんでいる老若男女の地元の方々の景色 ▶閉じることも大事            ▶闇があるから光があたるような場所 ▶メイン通りがあるから路地が面白い            ▶パブリック性とクローズな側面や, 表面と裏面の意識 ▶特別感を感じられる場所</p>
意見要旨
<p>○この場所をとくにかく幸せに楽しんでいる老若男女の地元の方々の景色をつくる。            ○閉じるということも大事なのではないか。            ○小さい子供は近づいてはいけない, 入ってはいけなさそうな場所が世の中にたくさんあった故に, 闇があるから光があたるような場所が生まれてきたのかなと思う。            ○広い傾斜が付いた敷地, 青山クラブから入船山記念館までを考えると, メイン通りがあるから路地が面白くなる。            ○全体としては非常に開かれて, 誰でも入れて, 老若男女が楽しめる空間もあれば, 敷居が高く, 条件がないと入れない, 宿泊利用者でないと入れないなど, オープンなパブリック性とクローズの側面や, 表面と裏面を意識する。            ○全てがオープンにシェアされていく世の中になりつつある。まちの奥深さや, 歴史を辿ったとき, 平和の象徴として打ち出していく時には, 必ず闇を語らないといけない。            ○表の青山クラブが非常にオープンで, 上がっていくと, だんだん特別感を感じられる場所になっていくような構成で考えていけたら良いのかなと思う。</p>



◇小野 委員

キーワード
<p>▶平和を感じる必要 ▶旧軍港を利用しているまち            ▶広島市と対局の見方をされる ▶市民が集う場 ▶時代が持つ価値            ▶海軍により形成された文化や歴史の発信 ▶市民と観光客の接合点            ▶集会所としての機能</p>
意見要旨
<p>○呉市が広島市と同等に平和を感じる必要がある。            ○広島市と比較して、呉市というのは旧軍港、それを利用しているまち。            ○広島市と対局にあるような見方をされることも多い場所だと感じる。            ○呉市ならではの光景を目の当たりにする環境の中で発信し得る、平和への意味。            ○青山クラブ、桜松館について、ここを残したいというよりも、ここを使わせて欲しい、市民がここに集う場を見たいというシンプルな思い。            ○時代というのも、その場所が持つ価値である。            ○海軍があったことにより形成された市民の文化や歴史を、当時全国から人々が集まったことにより形成され、市民が作った文化がもっと着目されても良い場所。            ○（青山クラブ・桜松館は）あまりにも大きい建物で、そこが持っている価値が、既に接合点になってきた場所である。            ○青山クラブは、呉集会所と自衛隊の方々は言われており、集会所のような機能を残していければ良い。            ○宿泊、レストハウスのような場所、大部屋もあったことを考えると、集会所としての機能を残していけば、市民がそこに集っている状態があるところに、市外からの観光客の方々が楽しみに来る。接合点になり得る場所であると信じている。            ○今後の方向性として、市民の集会所であり、そこに観光客も来るという形が必要。            ○文化拠点を狭義の意味で捉えて、美術館や博物館は人を呼ばないと言う人達がいる。            ○この地区が、歴史と文化を発信しようとするコンセプトがあり、呉の人がこの場所をどう考えていくのか、どのように使うイメージをしているのか。            ○方向性を決めるにあたって、市民をちゃんと巻き込んでいくことの重要性。</p>

◇加茂 委員

キーワード
<p>▶近代化の歴史を伝える ▶平和と軍事 ▶広島とは別視点からの平和</p>
意見要旨
<p>○広島市の平和公園を見て、大和が造られた歴史、近代化の歴史を伝える大和ミュージアムと併せた修学旅行            ○過去、平和を考える際には、軍事というものは避けて通れない。            ○現在の安全保障を担っている海上自衛隊の基地がある。            ○広島とは別の視点から平和を考えるコンテンツが呉にはある。</p>



◇河崎 委員

キーワード
<p>▶人が集まる場所   ▶文化度が高い呉   ▶美術館通りの作品を創られた方の思い ▶50年後にかっこ良いと言われる場所   ▶市民が誇れる場所   ▶音楽の聖地 ▶ユースセンター   ▶いろんな人たちとの交流</p>
意見要旨
<p>○これまでも旧海軍の時代も人が集まる場所だったようになっていければ。 ○呉は海軍がいた場所であり、文化度が高いと思う。 ○美術館通りには、有名な方の作品があるが、整備から30年近くが経過し、作られた方の思いが途切れている。どういった思いでその作品を作ったのかを聞きたい。 ○50年後にかっこいいと言える場所になってほしい。今いる子供たちが呉に生まれて良かった、誇れる場所になってほしい。 ○文化度が高かったことを繋いでいきたい。例えば、西洋音楽が入ってきたのは比較的早いのではないかと思う。その辺りの意味で音楽の聖地となってほしい。横須賀の方も同じようなことをされているのではないかと思う。掘り下げて、わかりやすく市民の方に伝えてほしい。 ○呉の人が使う、ユースセンター（中高生の放課後児童会のような、学校単位の壁を越えた中高生たちのコミュニティースペース）のような施設で、いろんな人たちとの交流ができる。そこに観光客の方々が訪れるようなまちになってほしい。</p>

◇下倉 委員

キーワード
<p>▶幸町地区の再生により、呉を活気のある場所に ▶人口減少の中でいかに子育て世代を呼び寄せるか ▶ナイトツアー   ▶若者が留まる場所に   ▶オタクを味方につける</p>
意見要旨
<p>○静岡県下田市で開催された黒船祭に行った。ペリーがやってきて開港したという点で、盛大に盛り上がっているのを見て、歴史の大事さを感じた。 ○幸町地区の再生によって、呉が活気のある場所になると良いと思う。 ○人口減少の問題は外せない。いかに子育て世代を呼び寄せるかが、今回の検討の課題になってくるのではないか。 ○友人が呉に遊びに来た時、ナイトツアーをする。美術館通りを通り、市民広場と呉医療センターを見せ、そこから陸橋に行ったりしている。 ○若者にとって、幸町地区辺りは、留まるところがないと感じている。青山クラブなどを留まる場所に活用できると良いと思う。 ○オタクも忘れてはいけない。「艦これまつり」があった時、すごい多くの人達が来た。ちゃんと味方に付けないといけない。</p>

◇戸高 委員

キーワード
<p>▶どこにも無いからつくる，無いものをつくる ▶ここにしかないものをつくる ▶呉の歴史の中で非常にポイント</p>
意見要旨
<p>○いろいろなものが，要約，集約されている。いろいろな使い方が考えられる。 ○特に市内外の方にも来てもらいたいということであれば，魅力も必要ではないか。 ○2つの博物館整備に携わった。どこにも無いからつくる，どこにも無いものをつくるという気持ちを常に持っていないといけない。 ○他と似たようなつくり方，似たようなコンセプトの施設を整備してもつまらない。 ○“ここにしかないものをつくる”という気持ちを持っていれば良い。 ○呉の歴史の中で、幸町地区は非常にポイントになっている。</p>

◇松野 委員

キーワード
<p>▶呉市の20年後，30年後を考える ▶中心となって輝く場所 ▶市民が集まれる場所 ▶外部から人を呼び込む ▶広島と対極的な平和 ▶広島から呉に船で来訪 ▶海軍もあったことを考えた活用</p>
意見要旨
<p>○呉市の20年後，30年後を考えて，中心となって輝かないといけない場所ではないか。 ○市民が集まれる場所でないといけないということを中心に考えていく必要がある。 ○外部から人を呼び込まないといけない。 ○広島と対極的などころもあるが，一緒に平和を訴えていかないといけない。 ○広島から呉に来てもらう，広島の平和公園と大和ミュージアム，美術館も含めて観光していただけるルートを考えていく。 ○海軍もあったことも考えて上手く活用していく必要があるのではないか。 ○広島平和公園から呉に来ようとする時，JRの場合，1日で動くにはなかなかしんどい。船で平和公園前の川から呉に来ることが出来れば，1時間くらいで来ていただくことができるのではないか。そういったことも複合的に考え，再整備が進めば良い。</p>

◇水田 委員

キーワード
<p>▶ 様々な時代の積み重ね ▶ 歴史は実物が残ってこそで、実物は見逃せない</p> <p>▶ 建物のイメージだけ残せば良いという理論は避けるべき</p> <p>▶ 建物全体をどのように残しながら検討していくか</p>
意見要旨
<p>○青山クラブの建物そのものは、大変重層的な歴史が詰まっていると思う。</p> <p>○元々、海軍の下士官集会所として建てられた当時のものもあれば、戦後に進駐軍が来たときに改修されたもの、その後、自衛隊が使用していた時に改修されているものなど、様々な時代の積み重ねというものが、1つの建物の中に入っている。</p> <p>○巨大な建物をどのように活用すれば良いのかという感想を持っているが、歴史は実物が残ってこそであり、特に歴史を知らない市民に対して、実物は見逃せない。</p> <p>○建物の構造に価値あるかは別として、建物での営み、活動に価値があるって言うのは、この委員会の中で共有されていると思うが、だから建物のイメージだけ残せば良いという理論が展開されるのは、できれば避けていただけたらと思っている。</p> <p>○例えば、歌舞伎座とか第一生命館（東京・日比谷）のような、建物の表側を残して後ろ側に新しく建物を造るというようなことを早急に決めるのは、いかがかと感じる。</p> <p>○青山クラブでの思い出の場所は、建物の至る所に残っているはず。建物全体をどのように残しながら検討していくかといったことも考えていければ。</p>

◇横山 副座長

キーワード
<p>▶ 美術館を知らないから、美術館はいらないという意見が出る</p> <p>▶ 美術館の高齢化社会、子供への対応 ▶ 呉市内では社会教育的な施設が乏しい</p> <p>▶ 文化施設は賑わう ▶ 美術館の使い方</p> <p>▶ 人が集まる一番賑やかなところに美術館や文化施設 ▶ 文化施設が持つパワー</p>
意見要旨
<p>○美術館はいらないという方に限っては、美術館を知らない方が多い。</p> <p>○日本全体の公立美術館について、平成になってから言われるようになったのは、高齢化社会と子供への対応。</p> <p>○呉市内では社会教育的な施設が乏しいというところもある。そういったことが意識されることが無いので、そんな予算組むのだったらやめてしまえという単純な論理がまかり通ってしまうところが残念。文化施設は賑わう。</p> <p>○現在でも学校として見に来られるが、美術館に入る前に子供達を整列させて歩かせる。使い方を慣れていないと思う。</p> <p>○ニューヨークやパリも、人が集まる一番賑やかなところに美術館や文化施設がある。大和ミュージアムなどの文化施設が持つパワーに、まだ地元の人が気付いていない。</p>

キーワード
▶広島市とは違った平和発信の仕方 ▶呉ならではの軍事と一体となった平和の話 ▶歴史には実際の本物が必要 ▶“そこにしかない”というもの ▶歴史の上に文化施設がレイヤーとして加わる ▶シビックプライドの創出 ▶開くのか開かないのか、どこを開いてどこを開かないのか
意見要旨
○広島市とは違った平和の発信の仕方があるのではなかろうか。 ○戦争を身近で感じる施設がある呉ならではの軍事と一体となった平和のお話とか、そういった部分を発信していくことが一つの柱としてなっているのではないか。 ○歴史というのは、本物が必要なのではなかろうかと、実際のものとしての本物が必要ではなかろうかというご指摘もいただいた。“そこにしかない”というものにも繋がっていくではないか。 ○歴史の上に、エリアとしての一つの考え方として、人が集まる場所、市民の方々がとどまる場所が方向性としてある文化施設が一つのレイヤーとして加わるのではないか。 ○市民の方々が集まることで、シビックプライドや観光のコンテンツになっていく、相乗的な効果が生まれるのではないか。 ○今後考えていかなければならない機能の話として、開くのか開かないのか、どこを開いてどこを開かないのかというところを考えることが課題としてあるのかなと感じる。 ○人口が減っている中で、その部分も考えていく必要があるのではなかろうか。 ○美術館の話として、呉のようなまちの文化施設の在り方を考えて行く上で、良い機会になるのではないか。 ○委員の皆さんの意見の方向性として、印象としては、細かいところではいろいろあるかと思うが、大きくベクトルは変わらないと思う。